

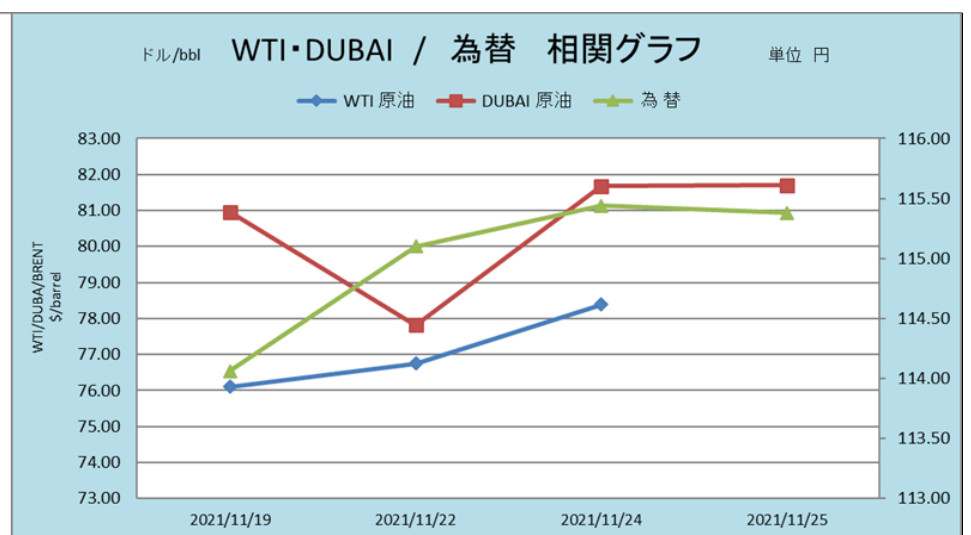
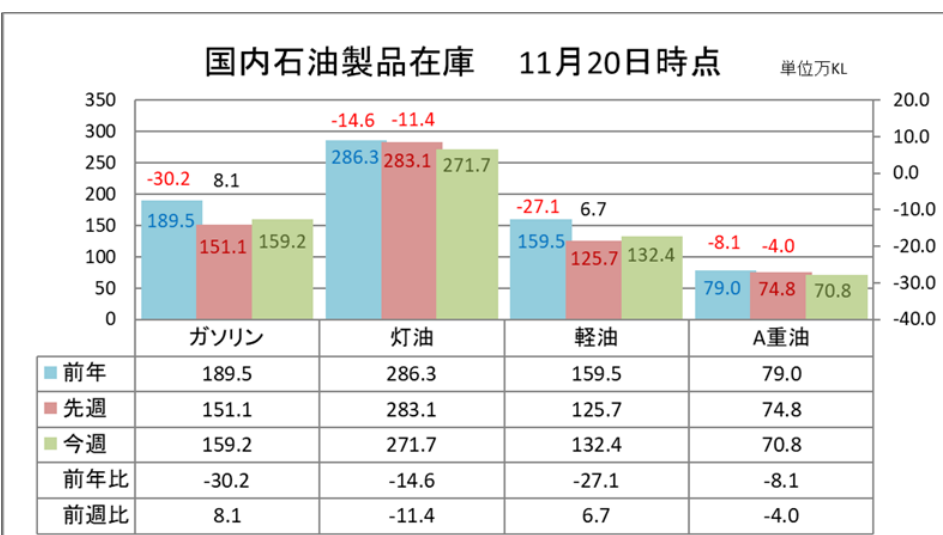
イデックスオイルレポート ~For a week~

2021/11/26作成 (株)新出光

【概況】<原油相場下落するも反転>

- 19日、ドイツなど欧州主要国での新型コロナウイルスの新規感染者が急増しており、各国が行動制限などの感染抑制措置を強化する可能性もあることから、景気回復への影響が不安視されていることに加えて、バイデン米政権が石油価格の上昇抑制のため米戦略石油備蓄(SPR)放出を検討していることも依然投資家心理を圧迫しました。原油相場は売りが台頭し、WTI原油で一時76.17ドルまで下落しました。
- 22日、米政府は先週、インフレの主因となっているエネルギー価格高騰に歯止めをかけるため、原油輸入額の大きい主要国に石油備蓄の放出で協調するよう呼び掛けました。これを受け、日本やインドが国家備蓄の放出に向けて準備を進めていることが明らかになり、売りが先行しました。
- 23日、産油国が増産に反対するとの懸念が強まっており、また日米中などが石油備蓄の協調放出を決めたものの、需給緩和効果は限定的との見方が強く反発しました。
- 24日、EIAが発表した週間在庫統計では、原油在庫が前週比100万バレル増と市場予想の50万バレル減に反して積み増しとなったものの、相場の反応は一時的でした。感謝祭の休日を控えて積極的な買いも手控えられている面もあるようです。ガソリン在庫は60万バレル減(同予想50万バレル減)、ディスティレート(留出油)は200万バレル減(同100万バレル減)でした。
- 25日、感謝祭のためNY市場は休場しており、価格は落ち着いた値動きに終始しました。

11月26日 17:00現在 WTI原油 74.08ドル 為替 1ドル 114.09円



※国内在庫は前週のデータで作成しています

※11/25はNY市場が休場でした

	次回元売変動予測		【製品卸価格】<榨消化優先の販売>
	12/2~	元売変動予測	
ガソリン	→	±0~+0.5	<p>《今週》今週の元売り仕切り改定は三社ともに「-1.0円」の値下げ改定でした。先安の為に月間リンク玉をメインに先行して値下げしていましたが、コストだけでなく、榨消化の面で価格対応していた販売が多く見られたように感じます。改定後は週間玉の方が価格に優位性があり、月間リンクの玉はなんとか榨を消化しようと追っていたようです。</p> <p>《11月27日以降》次回の元売り改定は、現状の原油コストで「±0~+0.5円」の小幅変動予測です。原油の上下動が激しく、また祝日が絡んでいるために原油コストも見えずらくなっており、先行きの見通しが難しくなっています。ただ、販売面としては月内のコストが月決め・週決めともにおおよそ固まっているため、11月最後の週末ということで販売に乗り出しています。週末のオーダーとしては、値下げ改定後でかつ月替わりのリセット値上げ前ということもあり、各油種比較的引き合いも多いようです。今週青森で降雪が観測されるなどようやく冬季到来の実感が湧いてきたところではありますが、気象庁の予測では気温が東高西低となることが発表されており、12月の暖房需要が早くも懸念されています。</p>
灯油	→	±0~+0.5	
軽油	→	±0~+0.5	
A重油	→	±0~+0.5	
LSA	→	±0~+0.5	

※現段階の原油コストによる予想です。

【次世代エネルギー】<地熱を活用した水素製造>

清水建設(株)は大分県九重町で木材と地熱を活用して「グリーン水素」の製造を始めました。国内のプラントメーカーなどと組み、地熱の蒸気と木材を反応させて水素を抽出する技術を開発しており、木材を使うことで、化石燃料を使う水素に比べて製造過程で出る二酸化炭素排出量を9割削減できるようです。2025年までに量産設備の建設を進めていく予定です。水素は製造に必要な原料や電力に加え、遠隔地からの輸送で二酸化炭素を排出することから、二酸化炭素を実質ゼロにするのが難しいとされています。その為地産地消での水素製造・供給の検証が行われています。地熱を利用した水素製造は同社の他に、(株)大林組も同じ九重町で検証を進めています。

[出典]

- ① <https://www.nikkei.com/article/DGKKZO77809240S1A121C2TEB000/>
- ② https://www.obayashi.co.jp/news/detail/news20210718_1.html